

令和2年度 支部保険者機能強化予算

群馬支部保険者機能強化予算

●医療費適正化経費

単位：(千円)

◆企画部門関係		R2
①事務説明会開催費用	事業所の担当者向けの説明会を近隣ビルで実施。 隔月開催となったため費用は減額となった。	9
②ジェネリック医薬品使用促進事業（優良薬局認定）	H31年度からの継続事業 群馬県薬剤師会と連携し、ジェネリック医薬品の使用割合が高い保険薬局を表彰・認定し、認定ステッカーの配布、HPにて紹介し他の保険薬局への啓発を図る。（評議会で、利用している薬局がGE使用率が高いのかわからないとの意見あり。） 【平成30年度 インセンティブ制度実績】 使用割合75% 28位	733
③年代別ジェネリック医薬品の普及促進事業	分析により15歳～39歳の使用率が悪いため、 大学、短大、専門学校（約150校）へポスター掲示 ジェネリック医薬品使用割合が低い地区の被保険者へDM送付を実施する	1,238
④多受診・はしご受診等の防止啓発事業	県内の医療機関（30,000ヶ所）に喪失後受診の防止等のポスター掲示を行う。 バナー広告を実施し、啓発を促す。	1,782
◆業務部門関係		R2
⑤外国人対応に向けた自動翻訳機の導入（新規）	窓口、保健指導、債権回収業務にて使用 債権初回催告者のうち34%が外国人であることから、翻訳機の導入で納付率向上が期待できる。債権回収のほか、保健指導や窓口に来訪する外国人に対応するため、2台のレンタル代となる。	106

群馬支部保険者機能強化予算

●医療費適正化経費

単位：(千円)

◆広報・意見発信		R2
⑥健康増進の普及にかかる広報	地方自治体等と連携し、マスメディアを利用してTV出演、CM作成等を通じて、幅広い年代に健康寿命延伸への取り組みについてなど情報発信を図る	550
⑦通勤通学時間帯を狙ったマスメディアを活用した広報	車通勤が多い群馬県民に対し、通勤通学時間帯を狙ったラジオ、ワンセグ放送を利用し、協会けんぽの事業内容を広く周知し、加入者および県民に対し、健康づくりの重要性等を広報する。	352
⑧新聞等を活用した広報	地方新聞等は、コンビニエンスストアで購入ができ、また病院、薬局の待合室や美容院等に設置されていることが多く幅広い年代の方へのアプローチができる。理解度調査の結果、理解度が低かった事業などの広報を実施し理解度向上につなげる。	1,320
⑨Web広告等を活用した広報業務委託	H31年度からの継続事業 紙媒体と違ったユーザー層に対しアプローチを行うことにより、協会けんぽの事業内容の周知ができる。YouTubeや映画館で、各2回の情報発信を行う。	3,751
⑩Instagramを活用した広報（新規）	全世界利用者が10億人（うち日本ユーザー3千万人）を超えるSNSを使用し、情報発信することで、新たなユーザー層へのアプローチを行う	600
◆紙媒体による 広報		R2
⑪健康経営事例集	健康づくりの参考となるような取り組み事例集を作成し、宣言事業所の拡大を図る。H31年度の健康経営事例集と取り組み事例を1本化して作成	908
⑫納入告知書チラシ	事業所に対して、毎月の情報発信を図る	2,871

群馬支部保険者機能強化予算

●保健事業経費

単位：(千円)

◆健診費用		R2
⑬協会主催の集団健診	群馬県内在住の60,000人の被扶養者（40～74歳の家族）に対し、R2年度末に集団健診を実施し受診率の向上を目指す。	7,043
⑭専門業者を活用した事業者健診結果データの取得	被保険者が10人以上在籍する事業所の事業者健診データの取得勧奨等を行い、健診受診率の向上を目指す。 また紙媒体で取得した健診結果をデータ化する。	9,498
⑮健診推進経費	病院ごとの健診受診勧奨目標を上回った件数に対して、インセンティブを支払う（上限あり）	19,819

◆健診受診勧奨経費		R2
⑯事業者健診チラシ作成	事業者健診データ取得促進に関するチラシを作成し、関係団体等のイベントでの配布や契約健診機関での事業者健診データ取得勧奨時に利用する。 2,000枚作成予定	50
⑰新規適用事業所への案内	新規適用事業所に健診案内や事業者健診データ提供にかかる資料を送付し、受診率の向上やデータの取得率の向上を図る。	467
⑱新規被扶養者への案内	新規加入した被扶養者宛に特定健診受診券を定期的に発送する作業を専門業者に委託する。約20,000人分	1,188

群馬支部保険者機能強化予算

●保健事業経費

単位：(千円)

◆健診受診勧奨経費		R2
⑱GISを利用した受診勧奨	被扶養者が特定健診を受診しやすい環境を整えるため、GISを活用し、自宅近隣の医療機関を記載したDMを送付する。対象者 群馬県内の50,000人	4,917
⑳特定健診ポスター	市町村と連携し特定健診の受診を促すポスター等を作成し掲示する。	34
㉑がん検診同時受診	健康づくりに関する包括協定を締結している県内6市等のがん検診と特定健診をセットでご案内することで、受診率の向上を目指す。	3,300

◆保健指導経費		R2
㉒保健指導推進経費	保健指導を行った医療機関等に、60件を超えた件数に対してインセンティブを支払う(上限なし)。	376

◆重症化予防対策経費		R2
㉓未治療者受診勧奨	未治療者に対し、保健師等が受診勧奨を行う。 また、地方紙に受診勧奨啓発広告を載せる。	447
㉔重症化予防対策	特定保健指導対象者のうち血糖に関する二次勧奨対象者で、受診勧奨後に治療開始になった方で継続支援を希望する方を群馬県のサポートプログラムを基本として支援を行う。	1,802

群馬支部保険者機能強化予算

●保健事業経費

単位：(千円)

◆コラボヘルス事業		R2
②⑤健康宣言事業所に対する情報提供	年4回、健康経営に役立つ情報誌を送付し、健康づくり対策を促す。	274
②⑥健康宣言事業所に対するフォローアップ	健康宣言事業所の取り組みが優秀な事業所を表彰し、ホームページ、ぐんまだより等で事例紹介を行うことにより、加入者及び事業主の健康増進啓発を図る。	42
②⑦活動量計の貸出による活動量調査	加入者に対して活動量計を貸出し、活動量を計測し、その結果について個別にアドバイスを行うことで、運動習慣の改善を促す。	137
②⑧講師無料派遣	健康宣言事業所に対して、健康づくりに関する専門職・有資格者を無料で派遣し、事業所内の健康づくり対策を支援する。	202
②⑨健康宣言事業所の拡大	生き生き健康宣言を行った事業所は、群馬支部加入事業所の1.2%のため、さらなる宣言事業所拡大をめざし、健康保険委員の勧奨も併せて勧奨業務を委託する。	523
③⑩事業所カルテ作成ツールの委託	事業所カルテ作成ツールを業務委託し、健康事業所宣言事業所等へ配布する。	1,815

群馬支部保険者機能強化予算

●保健事業経費

単位：(千円)

◆その他保健事業		R2
③①健康経営の普及促進事業	加入者への健康づくりの意識向上、健診の重要性、健康経営の普及促進を図ることを目的としたセミナーを実施する。 セミナー1回、広報2回等	2,839
③②イベントを利用した健康づくり推進事業	加入者への健康づくりと健診の重要性を周知し、健康寿命延伸を図るため、セミナーに参加し健康づくりの重要性を講和し、セミナー会場でブース出展を行う、 また、地方紙に広告を載せる。	990
③③地方自治体との連携による健康づくり推進事業（イベント出展）	連携する自治体等の主催イベントに出展し、加入者等への健康づくりや健診受診勧奨の重要性を周知する。	294
③④血圧リスク低下を図る運動セミナーの実施	群馬支部の加入者は血圧が高く、身体活動が少ない傾向があるため、運動セミナーを実施し、健康寿命延伸についての啓発や健康意識の向上をきっかけづくりを行う。	564

※保健指導図書購入費、中間評価時の血液検査費など基本的な予算は除いてあります。